

# 令和元年度「土木の日」記念行事



<主催> 公益社団法人 土木学会四国支部

<日時> 令和元年10月31日(木) 15:00~16:30


<会場> サンポートホール高松 61 会議室 (高松市サンポート2-1)

土木学会認定 CPD プログラム

<定員> 120名 参加費 無料

単位: 1.5 (予定)

## <プログラム>

15:00	<p>挨拶 土木学会 四国支部長 小林 稔 令和元年度 土木学会選奨土木遺産 認定書授賞式 認定遺産: 麻生堰 (あそうぜき) / 所在地: 高知県四万十市麻生 竣工年: 江戸初時代前期 (1630~1660年頃)</p>  <p>麻生堰は、野中兼山によってつくられた曲線斜め堰で、建設当時の姿のまま現役で活用されている貴重な土木遺産です。</p>
15:30	<p>特別講演『今そこにある「巨大災害の危機」南海トラフ地震のリスク ~間違いなくくる「四国難」災害~』 講演者: 公益社団法人土木学会 専務理事 塚田 幸広 氏</p>
16:30	閉会

## ■特別講演

<p>【講演者プロフィール】 つかだ ゆきひろ 塚田 幸広 氏</p> <p>生年 1956年 学歴 1984 北海道大学工学部 卒業 職歴 1984 建設省 (現国土交通省) 入省 2008 国土交通省 近畿地方整備局 企画部長 2011 国土技術政策総合研究所 道路研究部長 2014 (独) 土木研究所研究調整監 2015 関西大学客員教授 2015 (公社) 土木学会専務理事 現在に至る</p>	<p>【講演の概要】 昨年6月土木学会会長特別委員会「レジリエンス確保に関する技術検討委員会」は、南海トラフ巨大地震発生から20年間の経済被害を1,240兆円、建物、工場、個人資産の被害額を170兆円、合計1,410兆円と推計した。同委員会はこのような巨大な災害を「国難」災害と称したが、十分な時期に必要な対策を実施すれば20年経済被害を41%減の509兆円まで減らすことができるとも推計している。 同委員会によれば南海トラフ巨大地震後の2年間で四国地域の経済活動は41%~76%も低下するという。これは真に「四国難」災害。本講演では間違いなくくる災害の影響について考える。</p>
--	---

<申込方法>

参加ご希望の方は、参加申込書に所定事項を明記の上、お申し込みください。

<申込締切>

令和元年10月24日（木）

定員数に満たない場合は、当日まで受け付けいたします。



土木学会認定 CPD プログラム

<申込先>

公益社団法人 土木学会四国支部事務局  
〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 建設クリエイトビル  
TEL : 087-851-3315 / FAX : 087-851-3313  
E-mail : office@jsce7.jp

FAX : 087-851-3313 / E-mail : office@jsce7.jp

土木学会四国支部事務局 宛

---

10月31日開催「土木の日」記念行事 参加申込書

勤務先		担当者連絡先	
所属		TEL :	
住所		FAX :	
		E-mail :	

	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
氏名				
	参加者⑤	参加者⑥	参加者⑦	参加者⑧
氏名				